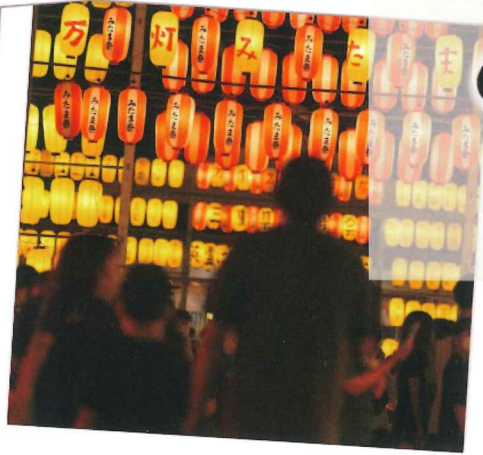
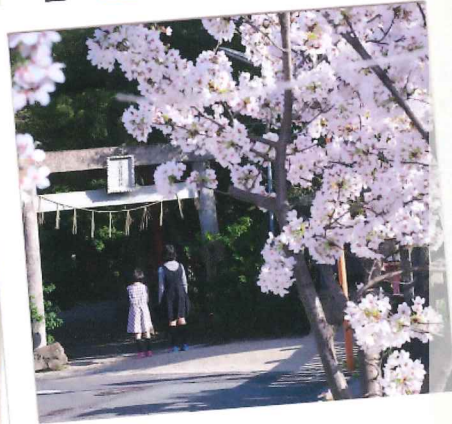
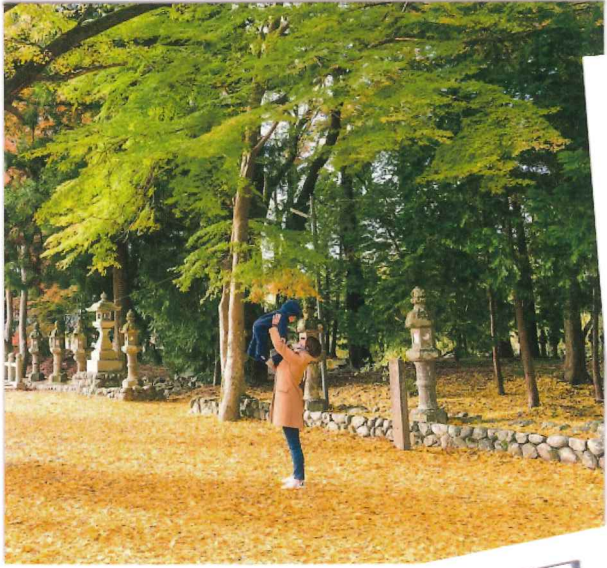


三重県神道青年会報

柳葉小



第四十九号



会長挨拶

吉田実生



私が当会会長の任をお預かりして早二年となります。平素からのご厚情はもとより、この間当会活動にご理解ご協力を頂き、また時には激励のお言葉を頂きました関係各位には心より御礼を申し上げます。

この二年間、世の中の様子が激しく変わりゆく中、我々三重神青は時代に即して活動を行ってこられたと自負しております。恒例の事業に加え、時勢に鑑みた動きを模索しつつ、奇しくも神宮大麻全国頒布百五十周年の慶節にあたっては、当会の同志たちと国家安泰の祈りと共に、一連の神宮大麻全国頒布百五十周年記念事業の終了奉告祭を心一つに奉仕できたことは神宮のお膝元の青年神職として僥倖でありました。

次期会長挨拶

溝脇 齊



令和四年十二月に臨時総会が開催され、次期会長という大役を仰せつかり、まさに身の引き締まる思いでございます。

さて、コロナウイルス感染症の拡大から、約三年が経ちました。知らない・わからない・経験がないことというのは、非常に不安で避けたことと思いますが、少しずつ解消しているように感じます。

当会においては数年前より役員数が減少傾向にあり、一定の役員の確保と先を見据えた会の運営を検討し問題、課題の克服を目指したいと考えます。

それには活動や事業の主旨説明をさらに丁寧に行い、多くの方々への周知を図り、知らない・わからないという事の無いように一歩ずつ

つではありますが、皆様方に御賛同・御協力いただく必要があると考えます。

現代社会ではさまざまな方法で情報発信や意見交換が出来る世の中へとなりました、オンラインなどはコロナ禍で、なかなか参集することが困難な場合においては、非常に活躍するツールの一つであります。その反面やはり画面越しでは伝わらない、いわゆる空気感が存在します。その空気感を大切にして、当会に課された役割を認識し、事業を展開していく所存で御座います。

今後も県内各社先輩諸賢の御理解と役員また会員の皆様との連携を密にして、青年会活動に全力で取り組んで参る所存でありますので、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和四年度臨時総会

十二月二十二日、オンラインリモートを併用して臨時総会を開催した。

今回の臨時総会開催理由は、次期の会長と監事をあらかじめ選考することにより、任期満了による次期への引き継ぎをスムーズに行うことを目的としたものである。

議題は、次期会長選出並びに次期監事選出が上程され、審議の結果、次期会長に溝脇副会長、次期監事に吉田会長と大野副会長が選出され、承認された。

議事終了後、溝脇次期会長からは、選出と承認をいただいたことへの御礼と、コロナ禍により活動が制限されるなかでも十分な感染症対策を取りながら活動を行いたい。また、会員向け次期も変わらぬ協力をお願いし、先を見据えての持続可能な運営や、青年会ならではの

の失敗を恐れず一つ一つの事業を精一杯務めさせていたいただことの挨拶があった。



令和四年度会務報告

- 令和四年**
 - 四月 十八日 令和三年度定例総会 二十一名出席 神社庁
 - 五月 十五日 沖繩本土復帰五十周年記念日 国土平安祈願祭 各奉務神社
 - 六月 三十日 第一回役員会 十八名出席 神社庁
 - 七月 十六日 福祉活動「白塚海岸清掃奉仕」 五名参加 白塚海岸
 - 八月 一日 福祉活動「白塚海岸清掃奉仕」 五名参加 白塚海岸
 - 八月 二十七日 三重県護国神社 第三回役員会 十三名出席 三重県護国神社
 - 九月 二十七日 三重県護国神社 第四回役員会 十一名出席 伊奈富神社
 - 十月 十二日 第五回役員会 十一名出席 神社庁
 - 十一月 二日 長野県神道青年会との植樹に関する勉強会 二名参加 長野県内
 - 十一月 二日 第六回役員会 十二名出席 神社庁
 - 十一月 二日 神宮大麻全国頒布百五十周年記念事業チラシ付きマスク配布 (二千枚) 県内各所
 - 十一月 八日 東京都神道青年会との意見交換会 十名出席 Web
 - 十一月 八日 神宮・南部ブロック研修会 九名参加 宮忠工場
- 令和五年**
 - 一月 十四日 新職員交流会 二十二名参加 伊勢市内
 - 一月 十八日 第七回役員会 十名出席 神社庁
 - 二月 十四日 神宮大麻全国頒布百五十周年記念事業 YouTube 記念事業 広告配信
 - 二月 二十一日 三重県神道青年会臨時総会 十一名出席 神社庁
 - 二月 二十二日 第八回役員会 八名出席 神社庁
 - 二月 二十三日 第九回役員会 十名出席 神社庁
 - 二月 六日 建国記念の日啓発活動 国旗掲揚チラシ・花の種配布(三千枚) 五名参加 宇治橋前
 - 二月 六日 北部・中部ブロック研修会 二十五名参加 神社庁
 - 二月 十五日 東京都大阪府・宮城県神青合同「防災に関する勉強会」 七名参加 Web
 - 二月 二十一日 災害対策研修「東日本大震災被災地視察」 四名参加 宮城・福島県
 - 二月 二十四日 神宮大麻全国頒布百五十周年記念事業終了奉告祭並びに国家安泰祈願祭 十二名奉仕 伊奈富神社
 - 二月 二十四日 第十回役員会 十五名出席 伊奈富神社
 - 二月 二十七日 災害対策研修「非常時防災講習」 八名参加 四日市北消防署
 - 二月 二十八日 神宮神道青年会との合同研修会 三十名参加 神宮司庁
 - 三月 九日 県外研修 三名参加 和歌山・奈良県
 - 三月 二十一日 第二回親子参宮団 二十六名参加 神宮
 - 三月 三十日 第十一回役員会 〇名参加 神社庁
 - 三月 三十一日 会報「榊葉」第四十九号発行 (千五百部)



白塚海岸清掃奉仕



七月十六日、社会福祉活動の一環として、津市の白塚海岸清掃奉仕に会長以下五名が参加した。

午前七時過ぎから開始し、潮風を受けながら心地よくごみ拾いを行うことができた。

「海の豊かさを守ろう」という共通の目標のもと清掃活動を行い、現地の状況をこの目で確かめることは、わたしたち自身のライフスタイルを見直す良いきっかけを与えてくれる。地道な清掃活動の積み重ねによる成果や、持続させることの大切さを感じた。

また、新しい試みとして皇學館大学と提携し、ご協力いただいた学生さんには粗品（フリクションペン）を進呈し、若い世代に向けての啓発も行っております。今後も当会では一層の啓発活動を行うて参ります。

沖繩本土復帰 五十周年記念 国土平安祈願祭



沖繩は、昭和二十年の終戦からアメリカの統治下に置かれ、二十七年のサンフランシスコ講和条約により、琉球政府が設置された。しかし、実質的にはアメリカによる統治が続いていた。

その中で、反返還や自治の拡大など沖繩に対する様々な意見が出たが、最終的にはアメリカ軍基地を維持したままの返還が決定し、昭和四十六年返還協定に調印、翌年の五月十五日に返還された。

それから五十年後の令和四年五月十五日、神道青年全国協議会の呼びかけのもと、「沖繩本土復帰五十周年記念日国土平安祈願祭」が、全国の各神道青年会会員の奉務神社で斎行され、国の平安と国民の安寧を祈願した。県内においても多数の神社で斎行された。



神青協沖繩本土復帰50周年 沖繩戦全戦歿者慰霊祭

十月二十七日、沖縄県護国神社にて加治順人宮司斎主のもと、全国より神青協会員五十四名が奉仕し、祭典が執り行われた。当会からは会長が奉仕し、この節目に全国の同志と共に、沖繩戦にて散華された御霊への祈りを捧げた。



建国記念の日

啓発活動

二月六日、宇治橋前に於いて建国記念の日啓発活動を会長以下五名が行った。

国旗掲揚について記されたチラシを作成し、花の種（コスモス）を添え、参拝者の方々へ配布した。

また、県内数か所の神社社頭に於いても配布させていただきました。



インターネットコミュニケーション&リサイクル

ミエネット販売

代表 楠 康弘

〒516-0001
三重県伊勢市大湊町 185-10
TEL・FAX (0596) 36-4751

神祭具御装束調進

鈴木半三郎商店

〒516-0077 伊勢市宮町1丁目12-7
(TEL) 0596-23-1881
(FAX) 0596-23-0202

全国各神社 御神符御社頭授与品
奉 製 所

伊勢國産合資会社

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町87
TEL 0596-22-2960
FAX 0596-22-2335

◎多少にかかわらず御用命ください。



うどん食堂つぼめや

〒516-0018
伊勢市黒瀬町 953 番地
TEL0596-22-5480

神宮大麻全国頒布 百五十周年記念事業



二月二十四日、令和三年度より行ってきた神宮大麻全国頒布百五十周年記念事業諸活動の締めくくりとして、「神宮大麻全国頒布百五十周年記念事業終了奉告祭並びに国家安泰祈願祭」が、会長を齋主に伊奈富神社において執り行われた。祭典は、会長を含め役員八名で奉仕し神宮神道

青年会から二名の参列も賜った。この周年事業の内容は、令和三年度に広く一般の方に向けた教化ツールとして十五分程の動画を作成し、YouTubeで公開した。また、事業所等を対象とした研修会をオンライン形式で開催し、多くの方々に参加いただいた。令和四年度は前年度に作成した動画・研修会で用いたパワーポイントのデータを、三重県神社庁ホームページの神



職専用サイトへ掲載してもらい、県内神職が活用できる教化資料とした。また、動画のQRコードが記載されたチラシとあわせてマスクを県内観光協会及び協賛事業所で配布をお願いすると共に、十二月中旬にYouTube広告も活用しながら広く周知を図った。特に令和三年度の活動は、神青協定例総会において教化事業賞として表彰された。



第二回 親子参宮団



三月二十一日(秋分の日)午前九時半より、遷宮啓発の一環として「第二回親子参宮団」を開催した。当日は、三重県各地から集まった子供十一名・保護者九名のご家族と、スタッフ六名(神道青年会役員)で研修を行った。

画を立てながら神宮のお膝元である三重県の人々に、神宮・遷宮について深く知って頂く機会を作る事が出来ればと考えている。



子供たちから「楽しかった」という声も届いており、子供たちと家族の良い思い出の一つとなったのではないかと感じる。今後この親子参宮団を継続し、様々な企



YouTube 動画紹介

人生儀礼 「初宮詣・厄年」

昨年度に続き、YouTube動画を制作しました。今回は「人生儀礼」をテーマに、「初宮詣」と「厄年」について一般の方々に関わりやすいものを届けることを心がけて制作し、ご祈祷でよく受ける質問にも対応できるものとなっております。ぜひ皆様のお社においてもご利用いただけたら幸いです。

また厄年を迎えることは
YouTube 動画は
こちらから!

祈る心によりそう御守づくり
京の伝統に真心を込めて
京都奉製株式会社
京都本社 / 東京営業所 / 仙台営業所
福岡営業所 / 東海営業所 / 広島営業所
☎0120-164124 (イロヨイニシキ)
京都奉製のHPがリニューアルされました!
是非ご覧ください。https://www.omamori.jp/

創業270年の
伝統技術 桑名 **和太鼓** 造り
創業宝暦三年 御太鼓師 九代目 阿部甚兵衛
阿部太鼓店
心に響く確かな技
桑名市下深谷部645 (高砂町)
(大桑国道258号線深谷陸橋下西へ50m)
☎(0594)29-1110(代)
FAX(0594)29-3405

太鼓作り900有余年
本木製ならではの品格と質の高さは最上級
原木・原皮からの一貫生産工場直売
在庫豊富 各品速納 カタログ送付
諸太鼓製造元 津島神社他多数御用達受
○神社・仏閣・教会用○雅楽・能楽用各種○祭礼用・舞台用・他
堀田新五郎 商店
☎(0567)26-2412(代)
愛知県津島市新田町5-123 FAX:(0567)24-7663
メールアドレス: shingoro@pony.ocn.ne.jp
ホームページ: https://www.hottashingoro-taiko.com

社殿造営
かやぶき神殿・神具
御霊舎・丸曲製造
設計・施工・販売卸
有限会社 俵田屋
代表取締役 田中弘紀
伊勢市宇治浦田1丁目10-38
☎(0596)22-3905(代)
FAX(0596)22-3908

■ 撮影者:erinainu 様
■ 撮影神社:海山道神社
四日市市海山道町1-62

たわわに実った稲穂のバックに赤い鳥居が映え、実りの秋を迎えた神社の様子が伝わってきます。また、新穀感謝の新嘗祭を連想させるお写真です。



部門賞「秋」

■ 撮影者:jinja_bodypitkyoto 様
■ 撮影神社:椿大神社
鈴鹿市山本町1871

厳しい冬の寒さのなかにも、日々神まつりが行われています。そんな変わることのない神社の日常と佇まいが表現された一枚です。



部門賞「冬」

■ 撮影者:gin250tr 様
■ 撮影神社:丸山稲荷神社
津市大字岩田字丸山2

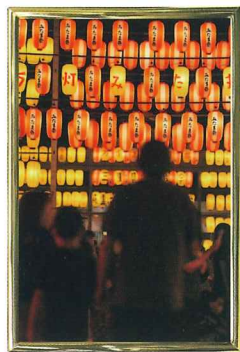
鳥居の前に立つ二人の姉妹の姿がとても可愛らしいお写真で、桜の桃色が鮮やかで春の訪れを感じられるこの部門にぴったり一枚です。



部門賞「春」

■ 撮影者:kahe0811 様
■ 撮影神社:三重縣護國神社
津市広明町387

幾重にも重なる暖色のちょうちん灯りが夜を彩り、夏のお祭りを連想させ、夏の夜の風物詩とも言える「万灯みたま祭」の象徴を見事にとらえた心温まる一枚です。



部門賞「夏」

ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube



ホームページ・SNSで情報発信中

Photographer Kankan氏

Instagram



HP(書籍紹介)



特別審査委員紹介

文化、ネイチャー、野鳥写真を中心に活躍。その写真は、美しいだけでなく、神仏や大自然の「気」や「魂」をも写し込むといわれ、特に神社仏閣写真の第一人者として各界から高く評価され続けている。伊勢神宮の本を十六冊、高野山の本を五冊など、著作は多数。

インスタグラム
神社フォトコンテスト

「美しき三重のお社」
季節の移ろいに寄り添う



結果発表動画はQRコードよりご覧いただけます。

八月一日から九月三十日までの二カ月間、初めてInstagramでのフォトコンテストを開催しました。三重県の神社といえば伊勢の神宮を思い浮かべることが多いと思いますが、三重県には自然豊かな農山漁村地域や、賑やかで活気溢れる都市部など様々な地域が存在し、各々特徴ある神社が数多く鎮座しています。今回のフォトコンテストでは、こうした神社の魅力を皆様に広く知っていただくことを目的として開催しました。

二カ月間で約千枚の応募をいただき、神社と四季が結びつく様々な写真がありました。このような写真から県内には美しく魅力溢れる神社が数多く鎮座していることを実感する良い機会となりました。

今後も、三重県の神社の魅力を発信できるような事業、企画を考えていきたいと思えます。

また、県内の各神社様や特別審査員をお引受けいただいたKankan様には、多大なるご協力を賜り御礼申し上げますとともに、今後とも当会事業にご理解とご支援ご協力いただきますようお願い申し上げます。



最優秀賞

■ 撮影者:horyu_mamiya.photography様
■ 撮影神社:積田神社 名張市夏見2162

一目で季節を感じることができ、三重県にはこんなに素敵なお宮がまだまだある、ということをお宮の秋の真っ只中にお母さんとお子さんが大変印象深く、「美しき三重のお社」のテーマに相応しい作品です。



特別審査委員賞

■ 撮影者:usphoto101 様
■ 撮影神社:宇流富志禰神社 名張市平尾3319

スローシャッターでダイナミックに動きを表現し、祭りの臨場感を見事に伝えることに成功しています。神社への思いも伝わり、作品としてのレベルも高いと言えます。

神酒 三重の新嘗 醸造元
清酒 宮の雪
株式会社 宮崎本店
ISO9001・ISO14001 認証取得企業
四日市市楠町南五味塚972
電話 (059) 397-3111
www.miyanoyuki.co.jp

御装束・調度・各種祭礼衣裳(神楽等) 授与品 御調製
有職工房
代表 江原永容
〒601-0011
京都市上京区上御霊前通
室町東入内構町四二四一
電話 〇七五-四一七-三二二七
FAX 〇七五-四四一-三三七六
フリーダイヤル 〇二〇-六四一-八八五五
HP http://yusokukoubou.com

創業 明治以前
各種御神符・守札 その他授与品全般
湊御神符奉製所
株式会社 湊

伊勢市神宮会館前 (〒516-0025)
TEL(0596)22-2442(代表) FAX(0596)28-8445
info@ise-minato.co.jp http://www.ise-minato.co.jp

神棚に御札をおまつりし
家内の安全をお祈りいたしましょう



板葺神棚(中) 外寸:幅46×高44×奥20cm 内寸:幅12.5×高32×奥8cm 10,000円(税込)
洋葺神棚 外寸:幅20.6×高30.6×奥8.2cm おまつりできる御札(最大)角紙 2,000円(税込)
茅葺神棚(中) 外寸:幅21.5×高51.5×奥37.5cm 内寸:幅12.5×高32×奥8cm 50,000円(税込)

※茅葺神棚・板葺神棚の大きさは各(大)(中)(小)がございます。他に壁掛け用神棚もございます。種類・寸法など詳しくはホームページをご覧ください。

TEL 0596-22-0001 FAX 0596-22-1517 E-mail tshuan@jingukaikan.jp

長野県神道青年会との 植樹に関する勉強会



十月十二日、長野県神道青年会との合同事業として、植樹に関する勉強会を開催した。

この事業は、神宮式年遷宮の御用材としても産出している『木曾檜』を、今後も持続可能な資源とするとともにその理解を深めるために昨年からの開催されている。

まず、御嶽神社若宮を正式参拝ののち、昨年度内に植樹したヒノキの現状を確認。六〇七割程度は根付いているようで安心した。今後も継続事業として成長を見守りたいと思う。

その後、赤沢自然休養林へ移動し第六十一回神宮式年遷宮で御杣始祭が執り行われた場所を現地見学。遷宮に携わった方々から貴重なお話を聞くことができた。



東京都神道青年会との 意見交換会

十一月二日、東京都神道青年会とオンライン形式による意見交換会を開催し、会長以下十名が参加した。

今回の意見交換会では、事前に興味があるテーマについてアンケートを行い、それぞれが青年会活動や神職として奉仕をしている中で、疑問点や聞いてみたいテーマに分かれて、グループ形式で行われました。

東京と三重という人口や生活環境が違う地域ならではの問題や悩み、また現代の社会傾向などを知る事ができ、今後の各単位会活動や神職としての奉仕に参考となる貴重な機会となった。



四都府県神道青年会合同 「防災に関する勉強会」

二月十五日、四都府県の青年会（東京、大阪、宮城、三重）合同で「防災に関する勉強会」がオンライン形式で開催され、七名が参加した。

まず、東京上野にある下谷神社宮司阿部明徳先生により、「被災地のまったり復興に向けて」と題して講演を戴いた。先生は、阪神淡路大震災や東日本大震災などで被災した神社の支援活動を続けられ、特に東日本大震災では、すぐに現地入りし、神社や鳥居など六十基近くの建立に尽力されている。講演の中では、被災した人々とのエピソード話や支援活動を通しての様々な経験など、今後の参考になるお話を戴いた。

その後、グループに分かれての意見交換会を実施した。様々な観点から災害や防災についての意見を出し合い、今後いつ起こるか分からない災害に正しい意識を高める貴重な機会になった。



神宮神青との合同研修会

二月二十八日、午後五時半から神宮司庁第一会議室にて神宮神道青年会と三重県神道青年会の合同研修会が開催された。

講師には神宮技師の岡田泰明先生をお招きし「神宮宮域林と式年遷宮」と題してご講義を賜った。

神宮宮域林の由来や面積、管理についての説明があった。こういった管理は大正十二年の森林経営計画により今日まで受け継がれており、次期式年遷宮では宮域林から三割ほど御造営用材供給が期待できるのではないかとのことであった。また、御社殿の屋根に必要な萱の育成が行われている萱地の管理方法についての説明もあった。

令和七年に予定されている次期式年遷宮の諸行事に向けて、私たちに何ができるのかを考える大変貴重な研修となった。



えと土鈴・各種土鈴・額皿・人形・御社紋入盃
名入湯呑・素焼製品・その他オリジナル陶製品

神宮司庁御用達

いつき陶苑

〒515-0321 三重県多気郡明和町斎宮2432-1
Tel 0596-52-5702
Fax 0596-52-3713

社寺建築・設計施工 御装束 調整=御遷宮
御調度品 鈔金具

株式会社 甲村

〒463-0069 名古屋市守山区新守西1608
電話 (052) 792-1202
FAX (052) 792-1293
御来店は JR中央線新守山駅前店へ

JR中央線
名古屋駅より15分

神祭具 授与品 記念品 奉製

株式会社 神路社

本社 〒516-8611 三重県伊勢市岩淵2丁目5番29号(私書箱第26号)
電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110
E-mail info@kamijisya.co.jp

神苑(東日本営業所)
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号 ACTビル4階
電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721
E-mail info-tokyo@kamijisya.co.jp
http://www.kamijisya.co.jp

神棚・神具の丁寧なお祀りの仕方を説明出来るスタッフを募集しております。

神と心のあいだに

伊勢宮忠

北部・中部ブロック研修会

二月六日、北部・中部ブロック研修会が三重県神社庁で開催された。「参拝者が神社に期待すること(百年先に神社を残すために)」と題して、株式会社DO THE SAMURAI代表の吉田亮先生にご講演いただいた。

神社や神道をどのように発信していくのか、全国の事例を参考にしながらお話しいただいた。百年先も神社の可能性を信じ、これからは積極的に発信していく時代なのだという言葉を再確認する良い機会となった。

また、今回は会員以外の県内神職の方々にも多数ご参加いただき、より有意義な研修会となった。終了後のアンケートでは参加者の多くから好評をいただいたことは、何よりの喜びとなった。



神宮・南部ブロック研修会

十一月八日、神宮・南部ブロック研修会が伊勢市にある株式会社宮忠の本社工場に於いてオンライン併用の形式で開催された。

この研修会は、事業者側と神職側の双方から講話を行い、相互に研鑽することを目的として開催され、事業者側からは、どのように神棚や神具が造られているのか、技術だけでなく神祭具製造に対する考え方や思いを含め、事業所の取り組み等もご説明いただいた。

また、神職側からは祭具の故実、神棚を祀る意義や、事前に寄せられた質問に対して解説がなされた。

本研修会では、工場見学も実施し、それをオンラインで配信することによりオンライン参加者も現地同様に工場を見学することができ、とても充実した研修会となった。



災害対策研修

〈東日本大震災被災地視察〉

二月二十一日、当会が主催し、愛知・静岡・長野各県合同による「東日本大震災被災地視察」の災害対策研修を福島・宮城両県神道青年会の皆様のご協力により開催した。

福島県では、震災後に当会が支援活動を行った茗野神社を再び訪問し、原子力災害伝承館、合祭殿等も見学した。

宮城県では、石巻大川伝承館、石巻市震災遺構門脇小学校を訪れ、当時の様子、状況の対比などを知り得ることができた。

東日本大震災から十二年を迎え、惨状を知らない世代が増え次第に記憶の風化が危惧されるなか、現地神青の方々から多くの教訓をお聞きすることにより地震や津波、原発災害の恐ろしさを再確認することができた。



近い将来起こるといわれる南海トラフ巨大地震に向け、防災・減災に関する取り組みをより一層行っていかなければならない。

災害対策研修

〈非常時防災講習〉

二月二十七日、四日市北消防署に於いて災害対策研修が開催された。

内容は、「非常時防災講習」と題して消防署員並びに県庁職員の方々からの講話や、起震車による地震体験を行った。直下型や海溝型の揺れ体験、また兵庫県南部地震や東日本大震災に相当する揺れの体験をさせていただいた。そして、煙避難体験室では火災時の避難体験、水消火器による消火訓練を行うなど、体験型施設での実地研修と和やかに接してくださった署員の皆様のご協力によって充実した研修となった。



あなたの本づくりサポートします!

- 自分史
- 句集
- 歌集
- 写真集
- 画集
- エッセイ

お問い合わせは下記まで

株式会社 アサプリ三重支社 TEL 059-245-3111

社名変更しました。(旧 株式会社オリエンタル)

三重県津市河芸町上野2100番地 FAX 059-245-1177 <https://www.asapri.co.jp/>



総合カタログ進呈

社殿・調度品・神祭具・御装束

伊藤商会

〒470-0131 愛知県日進市岩崎町ケカチ4-3

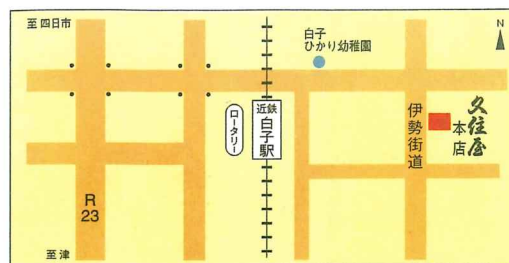
いいくにさんばい

フリーダイヤル ☎ 0120-192381

電話 0561-74-5110

FAX 0561-73-1472

ホームページ <https://itousyukai.jp>



久住屋茶舗

●本店 鈴鹿市江島本町7-13 TEL (059) 386-0142
<毎週月曜定休日> FAX (059) 386-8385



各種美術看板・企画・設計施工・デザイン・塗装

大和工芸

〒518-0809 三重県伊賀市西明寺678-4 TEL 0595-23-0226
E-mail: daiwa-k@fancy.ocn.ne.jp FAX 0595-23-1408

県外研修



三月九日・十日、高野山を研修場所としての県外研修を実施した。

山内の宿坊である西門院に宿泊し、寺院での一晚を過ごした。翌十日早朝には朝勤行にも参列し、僧侶の行う朝のお勤めに触れることができた。そして、空海との関係が深い奈良県野迫川村に鎮座する荒神社を参拝。その後、高野山奥の院、壇上伽藍の金堂・根本大塔を中心に山内の見学を行い、最後に丹生都比売神社を正式参拝した。丹生宮司様からは、高野山と神社の関係ひいては日本に於ける神道と仏教の関係性について詳しくお話を賜ることができた。

近年、三重神青では真言宗も含め、仏教宗派の青年会と交流する機会が増えており、そのような中で互いの関係性をより深く理解する一助となる研修であった。



卒業生芳名(敬称略)

- ・宇佐美 嘉紀 多比鹿神社
- ・山田 英輝 諏訪神社
- ・小林 一憲 海山道神社
- ・兼田 哲也 彌都加伎神社
- ・吉田 実生 伊奈富神社
- ・西世古 智之 伊奈富神社
- ・大野 一省 椿大神社
- ・營田 英聖 椿大神社
- ・眞弓 盛彰 菅原神社
- ・大塚 聡子 市杵島姫神社
- ・川 西 洋介 高城神社
- ・新居 一城 猿田彦神社
- ・中川 慎介 城田神社
- ・田 中 義康 木本神社
- ・山田 倫嗣 神宮
- ・千秋 季嗣 神宮
- ・近江 健一郎 神宮

編集後記

今回、初めてフォトコンテントを開催致しました。近年、YouTubeのような動画を用いることが多くなっており、当会においても動画を制作し、教化広報活動に使用しております。

今回、フォトコンテストを開催したことで改めて感じたことは、写真という一瞬一瞬を切り取った静止画であるにもかかわらず、その写真に写る前後の情景や背景、季節感などを思い思いに連想することにより、動画に劣らない「動き」が生まれ「物語」が出来る上がるということです。会報の中にも多くの活動写真を掲載しておりますので、そこから生まれる「動き」や「物語」を想像しながらご覧いただければ幸いです。